



Arai News!

(株)新井広武千330号王県大宮市東町2-12 0486(41)3825~7

4月16日のオーストリアではカゼをひいて不本意な成績をおわったが、4月30日のフランスGPまでには体もなおり調子を上げてくる。第1ヒートではホンダのラッキーについて2位、第2ヒートでは頭をとり結果総合1位となる。しかし第2ヒートではラッキーも2位につけてポイント争いでもデッドヒートである。

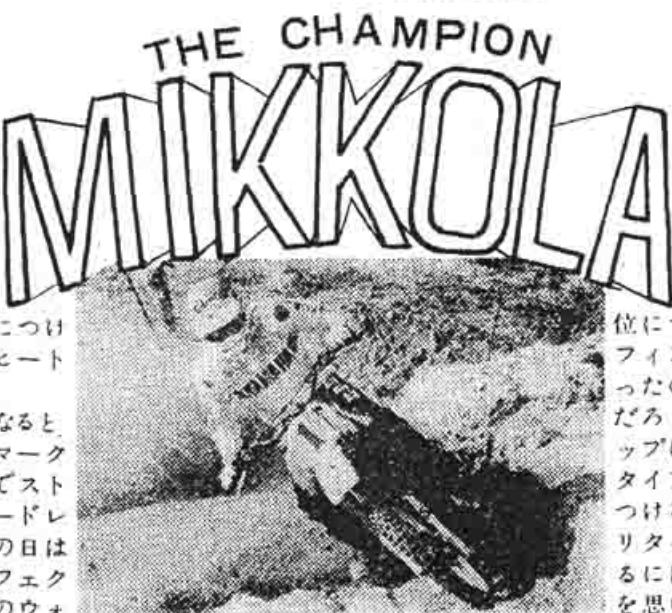
5月7日のデンマークになると調子は完全になる。デンマークはおそらく速いコースでストレートでは130も出るロードレースなみのコースだ。この日は両ヒートとも1位のパーエクト。しかし第2ヒートでのウォルシンクの追い上げはすさまじく、ゴール時の差は半車身、さすが強敵ぞろいのGP戦だ。ラッキーも総合2位に入りチャンピオンシップポイントでびたつとつけてくる。

5月21日はミッコラのホームグラウンド、フィンラン

ドだ。ヘルシンキ郊外のコースはミッコラが育った所だが、ここでは知人が多いためレース前の精神集中が出来ず、ミッコラにはむしろ苦手なフィンランドだ。しかしここでも両ヒート共1位のパーエクトで優勝する。ラッキーは両ヒート共2位につけしぶとい所を見せる。

フィンランドで最もついてなかったのはスズキのウォルシンクだろう。第1ヒートでは途中トップに立ちながら後輪破損でリタイア。第2ヒートも2位につけながらチュインをとばしてリタイア。チャンピオンになるには運も大きな要素である事を思い知る。フィンランドを終った時点でのチャンピオンシップポイントは132でミッコラは1位。ラッキーが116で2位につけてるが3位のデコスターの67には大分水をあけた。

豪華な賞金とボカリのレースを戦うミッコラは1シーズンでAraiヘルメットを1ヶ年も使う。CLC-RX-7は1ヶ年でも¥28,000。チャンピオンになるところの大変な事です。



★アメリカの賞金レースとヘルメット★

アメリカのモーターサイクルレースは賞金が大きい。観客も多いからだ。例えばAMAプロシリーズ開幕戦のヒューストンでは賞金総額は48,000ドル、約1,100万円だ。勝つたらどのくらいとれるか想像がつくだろう。だからレースとなると紳士的な走り方ばかりはしてられない気持ちもわかる。そんな彼らだからヘルメットにはうるさい。安全でかぶり心地がよくなければ絶対かぶらない。そんなアメリカのレース界でCLC-RX-7が注目されている。ヒューストンでヤマハの500

シングルに乗
り優勝した

浅見貞男は
タフだった

スティーフエラントもAraiに変えた一人だ。契約したわけじゃない。勝つてかせぐために必要だからAraiに変えただけだ。CLC-RX-7(¥40,000)はそんなヘルメットだ。



4月21日フランス・パリで練習中転倒して肩を脱臼した浅見貞男。頭もだいぶ打つたが震とうもなかつたというので、彼のCLC-RX-7を送り返してもらつたが、それを見ておどろいた。ものすごい衝撃を受けている。ことに左側後部のものは、世界一きびしいスヌルのテストの間に近い衝撃だ。同じCLC-RX-7をテストして分つた。ヨーロッパによくあるカツコバカウのヘルメットだつたら今ごろは棺桶に入つたろう。彼も、いいヘルメットをかぶついてよかつたと言つた。彼のヘルメットにかぎらずレーサーの事故ヘルメットをみると、みなぐるにキスがつき路面をころがりながらすべっているのがよく分かる。レースをする人は上からみてなめらかにころがりそうなヘルメットをかぶる事。変な形をしてたら必ず首をやられますよ! なあ、事故の直後、「ほうたいて肩をしつかりとめとけば1週間後のオーストリアアルプスブルグリングに出られるだろう」と言つて。CLC-RX-7もタフだが、かぶつていた浅見貞男もタフだった。



バグ
・T
シャツ
・ス
テ
ツ
カ
ー